

# 令和5年度布野中学校区 実践報告資料



三次市立布野小学校  
三次市立布野中学校

研究主任  
研究主任

宮田 遼雅  
阪本 千弥

# PBLの考え方を参考にして生活科・総合的な学習の時間を実践すると、こんな探究する姿が見られます！

課題と出会う



探究計画の立案



販売活動とインタビュー活動



地域活性化プロジェクト案の提案



専門家、企業、行政などへのインタビュー



新たな課題の発見



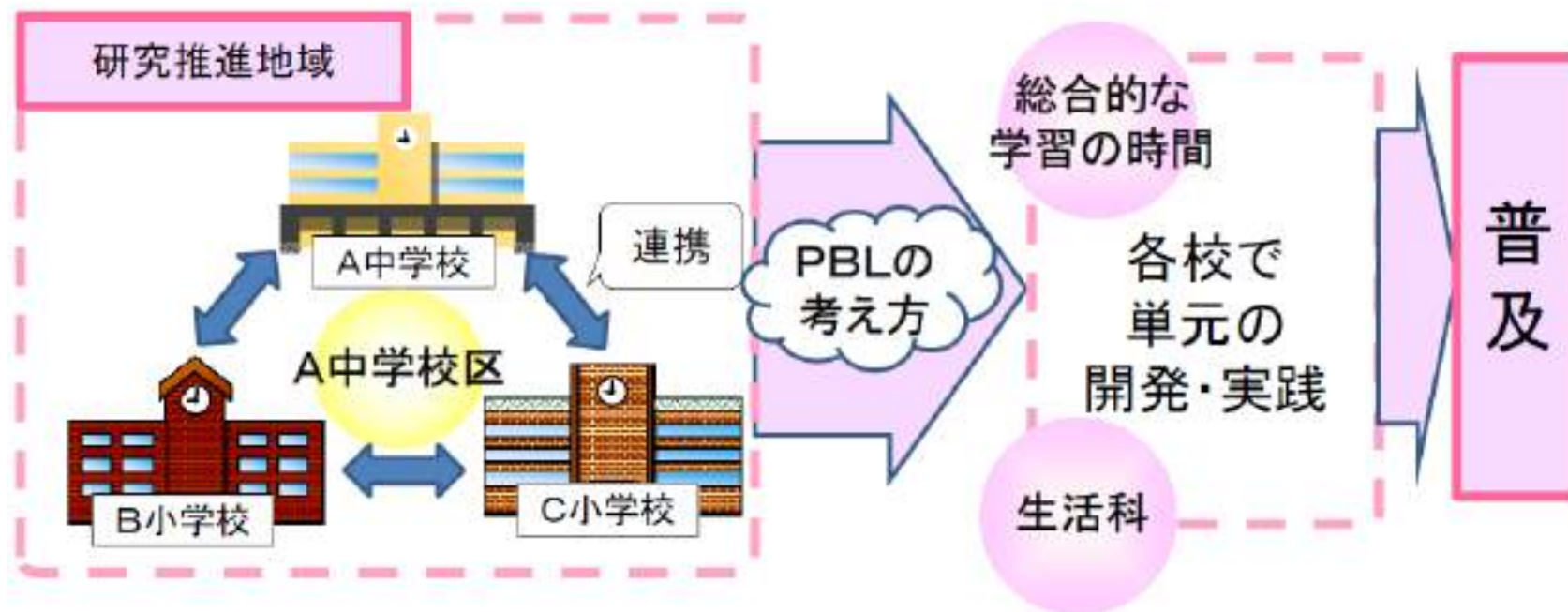
# 目次

1. 布野中学校区の研究構想
2. 探究を充実させる4つの柱
3. 本年度の実践事例
4. 成果と課題及びその対策

# 探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業

## 趣旨

探究的な学習の充実に向け、小学校と中学校が連携して、PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考に、生活科及び総合的な学習の時間の単元を開発・実践し、その成果を検証、普及する。



## 2 研究の内容

各研究推進地域は、研究推進協議会における研究推進計画等に基づき、具体的な研究課題を設定し、探究的な学習の充実に向け、小学校と中学校が連携して、PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考に、生活科及び総合的な学習の時間の単元を開発・実践するとともに、その研究成果を普及する。

ア 中学校区として系統的に育成を目指す資質・能力を設定し、PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考に、生活科及び総合的な学習の時間の単元計画を開発・実践する。

イ 育成を目指す資質・能力を評価するためのルーブリックを開発する。

ウ 3年間の研究成果を域外に普及するためのリーフレットを作成する。

単元計画の  
開発・実践

ルーブリック  
の開発

リーフレット  
の作成

## 布野中学校区小中一貫教育目標

### 「自信と安心」

自らとふるさとに誇りを持ち，仲間とともに，夢や志に向けて主体的に活動する児童生徒の育成

### 布野中学校区が育成を目指す資質・能力

- ・ 生きて働く知識と技能
- ・ 調整力
- ・ 主体性
- ・ 自らへの自信

## 1 研究構想

## 2 探究の柱

## 3 実践事例

## 4 成果と課題

育成することを目指す資質・能力	布野中学校区が育成を目指す資質・能力	定義
知識及び技能 (知識・技能)	<b>生きて働く 知識と技能</b>	課題の解決に必要な知識及び技能を獲得し、課題に関わる概念を形成している。
思考力, 判断力, 表現力等 (思考・判断・表現)	<b>調整力</b>	自分と他者の意見をつなげて考えたり, お互いの意見を調整したりすることができる。
学びに向かう力, 人間性等 (主体的に学習に取り組む 態度)	<b>主体性</b>	自分の良さや弱点を明らかにして, 何を伸ばし, 何を克服するのか判断し, 見通しを立てて計画的に取り組もうとしている。
学びに向かう力, 人間性等 (個人内評価)	<b>自らへの自信</b>	探究的な課題に協働的に取り組む中で, 自己の特性に気付き, 自分が社会にどのように関わっていきたいのかを考えようとしている。

## 研究テーマ

対話を通して主体的な学びを深める授業の在り方

～生活科・総合的な学習の時間における  
評価の在り方に関する研究を通して～

## 研究仮説

PBL(プロジェクト型学習)の考え方を取り入れた探究的な学習を充実させるとともに、ルーブリックを活用した評価の在り方を研究して指導に生かせば、児童生徒たちの探究は対話を通して主体的に学びを深めるものとなり、本中学校区が育成を目指す資質・能力を育成することができるであろう。



研究構想図

# 教育目標の達成

布野中学校区が育成を目指す資質・能力の育成

生きて働く知識と技能

課題の解決に必要な知識及び技能を獲得し、課題に関わる概念を形成している。

調整力

自分と他者の意見をつなげて考えたり、お互いの意見を調整したりすることができる。

主体性

自分の良さや弱点を明らかにして、何を伸ばし、何を克服するか判断し、見通しを立てて計画的に取り組もうとしている。

自らへの自信

探究的な課題に協働的に取り組む中で、自己の特性に気づき、自分が社会にどのように関わっていきたいのかを考えようとしている。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得

指導方法の工夫

学習習慣の確立

児童生徒の対話の質を高める

PBLの考え方を取り入れた探究的な授業の充実

ルーブリックを活用した評価の研究と評価結果の活用

教育目標が達成される

児童生徒の資質・能力が育成される

PBLの考え方を取り入れた探究活動により、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを引きだす

# 目次

1. 布野中学校区の研究構想
2. 探究を充実させる4つの柱
3. 本年度の実践事例
4. 成果と課題及びその対策

探究リーフレットを  
ご準備ください

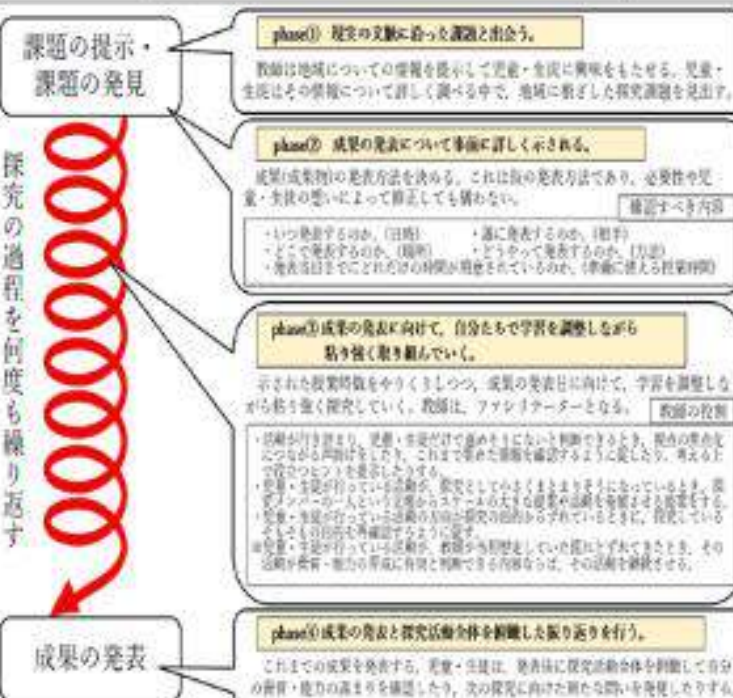


# PBLの考え方を取り入れた探究的な授業

## PBL(プロジェクト型学習)

「授業での子供たちの学びをプロジェクトとして組織し、その達成へと促す手法」であり、実生活・実社会の「答えがない問い」を扱い、その解決に向けて探究し、解決策を社会に提案・発信する。

### 布野中学校区探究活動モデル



### 探究の始まり



(小5) 米作りを体験したことをきっかけに探究が始まる。

### 計画の立案



(中3) 発表までの過程を踏まえ、活動計画を立てる。

### 振り返りと新たな問いの発見



(小4) 長江小との交流会を終え、これまでの活動を振り返る。

### 協働して解決



(小3) プレゼンを他グループに行ってもらった意見を次に生かす。

## PBL（プロジェクト型学習）

「授業での子供たちの学びをプロジェクトとして組織し，その達成へと促す手法」であり，実生活・実社会の「答えがない問い」を扱い，その解決に向けて探究し，解決策を社会に提案・発信することで，児童生徒の主体的，対話的で，深い学びを引き出そうとするもの。

### 【PBL（プロジェクト型学習）の特徴】

- ◆ 「ひとつの解が存在しない，発展性のあるプロジェクト」を扱う学習
- ◆ プロジェクトの遂行を通して，他の学習にも応用できる汎用的能力の育成を目指す学習
- ◆ 「社会に開かれた教育課程」の視点で，教科等を横断しながら，実生活・実社会の課題を解決（社会への還元）する学習
- ◆ 「将来こうなるためにはどうしたらいいのだろうか？」と考え，現実と未来のギャップを埋めるような探究を組み込む学習

課題の提示・  
課題の発見

phase① 現実の文脈に沿った課題と出会う。

教師は地域についての情報を提示して児童生徒に興味をもたせる。児童生徒はその情報について詳しく調べる中で、地域に根ざした探究課題を見出す。

phase② 成果の発表について事前に詳しく示される。

成果(成果物)の発表方法を定める。これは仮の発表方法であり、必要性や児童生徒の想いによって修正しても構わない。

確認すべき内容

- ・いつ発表するのか。(日時)
- ・どこで発表するのか。(場所)
- ・発表当日までにどれだけの時間が用意されているのか。(準備に使える授業時間)
- ・誰に発表するのか。(相手)
- ・どうやって発表するのか。(方法)

phase③ 成果の発表に向けて、自分たちで学習を調整しながら  
粘り強く取り組んでいく。

示された授業時数をやりくりしつつ、成果の発表日に向けて、学習を調整しながら粘り強く探究していく。教師は、ファシリテーターとなる。

教師の役割

- ・活動が行き詰まり、児童生徒だけで進めそうにないと判断できるとき、視点の焦点化につながる声掛けをしたり、これまで集めた情報を確認するように促したり、考える上で役立つヒントを提示したりする。
  - ・児童生徒が行っている活動が、探究として小さくまとまりそうになっているとき、探究メンバーの一人という立場からスケールの大きな提案や活動を発展させる提案をする。
  - ・児童生徒が行っている活動の方向が探究の目的からずれているときに、探究しているそもそもの目的を再確認するように促す。
- ※児童生徒が行っている活動が、教師が当初想定していた流れとずれてきたとき、その活動が資質・能力の育成に有効と判断できる内容ならば、その活動を継続させる。

phase④ 成果の発表と探究活動全体を俯瞰した振り返りを行う。

これまでの成果を発表する。児童生徒は、発表後に探究活動全体を俯瞰して自分の資質・能力の高まりを確認したり、次の探究に向けた新たな問いを発見したりする。

成果の発表

探究の過程を何度も繰り返す



探究の始まり



(小5) 米作りを体験したことをきっかけに探究が始まる。

計画の立案



(中3) 発表までの過程を踏まえ、活動計画を立てる。

協働して解決



(小3) プレゼンを他グループに行いもらった意見を次に生かす。

振り返りと新たな問いの発見



(小4) 長江小との交流会を終え、これまでの活動を振り返る。

布野中学校区  
探究活動モデル

課題の提示・  
課題の発見

**Phase① 現実の文脈に沿った  
課題と出会う。**

探究の始まり



(小5) 米作りを体験したことをきっかけに探究が始まる。

**Phase② 成果の発表について  
事前に詳しく示される。**

計画の立案



(中3) 発表までの過程を踏まえ、活動計画を立てる。

**Phase③ 成果の発表に向けて、  
自分たちで学習を調整  
しながら粘り強く取り  
組んでいく。**

協働して解決



(小3) プレゼンを他グループに行いもらった意見を次に生かす。

**Phase④ 成果の発表と探究活動全体を  
俯瞰した振り返りを行う。**

振り返りと新たな問いの発見



(小4) 長江小との交流会を終え、これまでの活動を振り返る。

探究の過程を何度も繰り返す

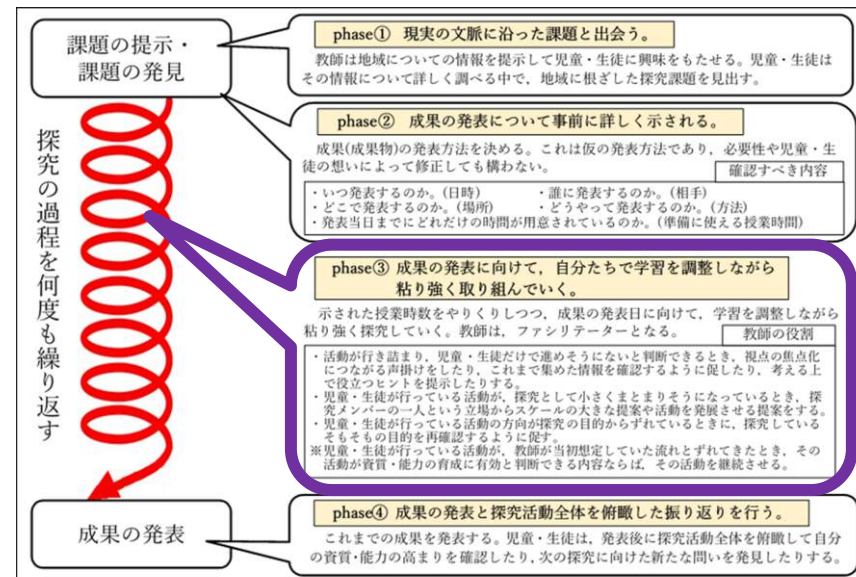


成果の発表

布野中学校区  
探究活動モデル

## phase③についての基本的な探究の手法

- (1) 地域(布野)のためにできることを考える。
- (2) (1)で考えたことは、地域のニーズに合ったものであるか調べる。
- (3) 調べた結果をもとに単元を貫く問いを設定する。
- (4) とりあえずやってみる(プロトタイプを作る)。
- (5) (4)を発表し、意見や感想を集める。
- (6) 集まった意見や感想をもとに作ったものを修正する。修正後に発表し意見や感想を集める。
- (7) (6)を完成したと思えるまでひたすらに繰り返す。
- (8) 成果発表の場面で、自分たちが最も効果的と考える方法で成果を発表する。
- (9) 成果発表後の反響などを踏まえて、単元を貫く問いに立ち返り、探究活動全体を振り返る。
- (10) 今年度の経験を受けて、次年度の探究活動をどのようにしていきたいのかを考え、問いを立て方向性を決めていく。



# 布野中学校区 発達段階毎の探究する姿

令和5年4月12日(水)現在

Ver.2

	初期		前期		中期			後期	
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
この期間について	前期以降の総合的な学習の時間での活動に向けて、探究活動を体験する期間。教師が主導となるが、児童の想いを大切に、場面毎に、自分たちなりの工夫を成果物に込めていながら探究を進めていく。		探究活動を行っていく期間。課題の提示や活動内容、成果物の発表方法等、まだまだ教師が主導する面は強いが、児童の想いや考えを大切に、教師と児童が対話しながら方針を決めて探究を進めていく。		学習者主導の探究活動を目指す期間。徐々に児童・生徒が主体となり探究活動を行っていく。 教師が設定したテーマを活用して、地域のために何ができるかを児童と教師が共に考え、探究を進めていく。			学習者主導の探究活動を行う期間。生徒が主体となり探究活動を行っていく。 生徒同士での対話を重視しながら、布野中学校区探究活動モデルを生徒たちが主体的に活用して探究していく。教師は場面に応じて、協働探究者或いはファシリテーターとなり生徒の探究を支援していく。	
step① 課題設定	教師が、育成したい資質・能力や児童の興味関心、探究する価値のある教材といった要素から総合的に判断して単元のテーマを設定する。児童が主体的に学習に取り組みたくなるように、導入(テーマとの出会い合わせ方と魅力的なゴール設定)を工夫する。		教師が、育成したい資質・能力や児童の興味関心、探究する価値のある地域教材、他者(地域の人や専門家等)とどのような関わりをもつことができるかといった要素から総合的に判断して単元のテーマを設定する。児童が主体的に学習に取り組みたくなるように、導入(テーマとの出会い合わせ方と魅力的なゴール設定)を工夫する。		児童・生徒が布野の特色や現状について調べて自分たちなりの布野のより良い姿をイメージし、イメージを実現するために、自分たちでできることを考え、探究テーマや目標を設定する。予め教師は探究テーマを想定しておくが、児童・生徒の願いの実現に、より適した探究テーマが意見として出てくれば、その探究テーマについて検討する。			生徒が自分たちなりにイメージしている布野のより良い姿の実現を目指し、これまでの探究活動を振り返り、以前の探究テーマを発展させたり、新たに魅力的なテーマを発掘して探究を進めたりしていく。教師は主にファシリテーターとなり生徒の探究を支援していく。	
step② 成果物の発表	教師が魅力的な発表の場面を設定する。児童に示すときには、特に、誰が発表の場に参加するのか、その相手に、成果物の発表を通じてどんな気持ちになって欲しいのかという具体的な目的意識を全ての児童で共有させる。		教師が魅力的な発表の場面を設定する。児童に示すときには、特に発表する目的と当日までの授業時数を意識させ、自分たちなりの見通しを立てて探究活動を行っていくようにする。		児童・生徒が目標の達成のために、誰にどのような発表を行うのが最も効果的かを考え、発表方法を決定していく。予め教師は、発表の場面を想定しておくが、児童・生徒の願いの実現に、より効果的な発表の場面が意見として出てくれば、その発表方法について検討する。			生徒が目標の達成のために、誰にどのような発表を行うのが最も効果的かを考え、発表方法を決定していく。発表会場での作成・タイムスケジュールの設定・司会原稿・関係者へのもてなし等についても企画していく。教師は主にファシリテーターとなり生徒の探究を支援していく。	
step③ 探究手法	教師が選択肢を提示し、児童は、選択肢の中から、最も自分が望むものを選択して実行していく。中間発表の場面を何回か設定し、学習調整を促す。		教師が選択肢を提示し、児童は、選択肢の中から、目的の達成に最も適している方法はどれかを考えて、選択した方法を実行していく。中間発表の場面を何回か設定し、学習調整を促す。		児童・生徒が発表までの期間を考え、見通しを立てて探究活動を行っていく。必要に応じて、材料や準備時間などを教師に相談しながら確保していく。			生徒が発表までの期間を考え、見通しを立てて探究活動を行っていく。必要に応じて、材料や準備時間などを工夫してやりくりし、計画を遂行していく。	
他者との関わり	児童に成果物を作っていく段階で必要性を感じさせ、詳しい人に教えてもらいたいという想いを持たせる。詳しい人に教えてもらう活動を設定し、他者と交流することの価値を体験させる。		児童に次のようなプロセスで地域の人と関わらせることで布野の特色への概念的な理解を深めさせる。①探究のテーマとなる布野の特産物や文化を知る。②地域の人と関わっていく中で、その特産物や文化について、地域の人々が深い愛情をもっていることを感じとる。③その特産物や文化が布野で暮らす人々の誇りとなっていることを理解する。		児童・生徒が成果物の作成のために、より精度の高い情報を得るべく専門家に依頼してアドバイスをもらうとする。 児童・生徒が、自分たちの考えている方法をより適切なものにするために、地域の人々の想いを聞いたり、成果物を発表するターゲットとなる人々にアンケートやインタビューに協力してもらったりしようとする。			生徒が成果物の作成のために、必要となる具体的な情報を整理し専門家にインタビューを行うとする。	
探究活動終了後の児童・生徒の姿	探究活動全体を振り返ることで、自分の成長(布野中学校区が育成を目指す資質・能力の高まり)を実感している。								
	成果物を誰かに発表することで、自分の行いが他者の喜びにつながっていることを実感し、次の探究活動への意欲を高めている。		成果物を目標に適した相手に発表することで、自分の行いが地域に貢献していることを実感し、次の探究活動への意欲を高めている。		探究を通じて、自分なりの理想的な布野町の姿を具体的にイメージしている。			探究を通じて身に付けたことを日常で活かそうとしている。また、自分は社会とどのように関わっていくべきかを考えようとしている。	

布野中学校区  
発達段階毎の  
探究する姿



# ルーブリックを活用した評価

**布野中学校区  
オリジナルカリキュラム**  
9年間を初期・前期・中期・後期に分け、資質・能力を段階的に育成

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
総合的な学習の時間	...	...	...	...	...	...	...	...	...
外国語	...	...	...	...	...	...	...	...	...
道徳	...	...	...	...	...	...	...	...	...
体育	...	...	...	...	...	...	...	...	...
音楽	...	...	...	...	...	...	...	...	...
美術	...	...	...	...	...	...	...	...	...
家庭科	...	...	...	...	...	...	...	...	...
職業科	...	...	...	...	...	...	...	...	...
特別活動	...	...	...	...	...	...	...	...	...

## 資質・能力を見取る ルーブリック

	A	B	C
総合的な学習の時間	課題の解決に必要な知識及び技能を積極的に、実社会や生活に活用できる概念を形成している。	課題の解決に必要な知識及び技能を習得し、課題に関わる概念を形成している。	課題解決に必要な知識及び技能を獲得している。
外国語	話し合いを通して、考えを整理・深化させ、意思を伝えることができる。	話し合いを通して、自分の考えと共通したり、相手の考えをもつて考えることができる。	自分の考えを述べて、自分の考えに活かすことができる。
道徳	自分の考えや感情を述べることが多くなり、必要に応じて議論や意見を述べて、意思を伝えることができる。	自分の考えや感情を述べることが多くなり、必要に応じて議論や意見を述べて取り組みを深めようとしている。	自分の考えや感情を述べることが多くなり、必要に応じて議論や意見を述べている。
職業科	自分の考えは、「学びの場から学ぶ、人間性」や「観点別学習状況の評価や設定には対応せず、個人内評価を通じて見取る部分」に対応した観察・評価であるため、ルーブリック評価による一面的評価は行わず、子どもたち一人一人の思いや可能性、意欲の状況を見取り、それを評価している。		

教師は、行動観察や振り返りをルーブリックで評価して、指導改善に生かす。



これおもしろいな～これもおもしろいな～(目的から離れていく)

### ①ルーブリックを活用した評価

- ・見通しをもって進められていないな。
- ・目的も意識できていないぞ。



### ②評価結果の活用

- 【教師のファシリテート】
- ・何のためにやってるんだっけ？
  - ・中間発表まであと何日かな？



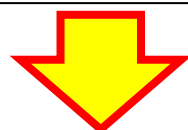
あと3週間で発表するんだっけ！手分けして調べて、プレゼンを作っていこう！

児童・生徒は、本時の目標に対してルーブリックを活用した自己評価(振り返り)を行い、主体的な学び手となる。

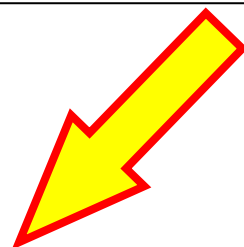


【生徒の振り返り】  
今日の自分はB評価だった。様々な状況に対して適切に対応するために、周りをよく観察してやり方を決定していくようにしたい。

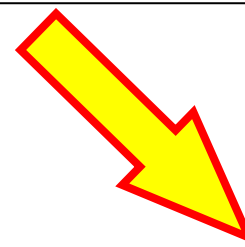
単元のルーブリックを作成する。



評価(主に形成的評価)する。



教師の**指導改善**に活用



児童生徒が学びを振り返り  
**学習改善**に活用

# 1 研究構想

# 2 探究の柱

# 3 実践事例

# 4 成果と課題

布野中学校区 オリジナルカリキュラム ～布野中学校区が育成を目指す資質・能力の向上を目指して～

令和5年4月12日(水)現在

Ver.6

		初期	前期	中期	後期					
布野中学校区が目指す資質・能力を身につけるための探究活動		やっぴが やってき た	うごくうごくわたしのめっちゃ	布野のアスバラガス～アスバラガス事件をしよう～	布野と中村藩官～長江中と交流しよう～	布野東のけしきとひみつをたたくさん只人に広めよう	鐘山街道調査隊 探検	グッドタウン布野	遊園地探検隊	地域・社会のために役立つことを実践しよう
布野中学校区が育成を目指す資質・能力	知識及び技能	課題の解決に必要な知識及び技能を獲得し、課題に関わる態度を形成している。	べたりしながら課題解決のために必要な知識及び技能を獲得している。	任意課題したり、問題と向き合いながら、課題の解決に向けて必要な知識及び技能を獲得している。	択したり、問題と向き合いながら、地域や自らの生活に関わる課題の解決に活用できる知識及び技能を獲得している。	課題を解決するために獲得した知識・技能を、社会に還元し、自らの生活に関わる課題の解決に活用できる。	課題を解決するために獲得した知識・技能を、社会全体が当てるために活用できるように活用させる。			
	思考力	探究的な学習を通して、課題の解決に必要な知識・技能を獲得し、活用させる。	探究的な学習の過程を継続した単元を仕組むことで、体験を通して主体的に学ぶことができる。	探究的な学習の過程を継続させる単元を仕組むことで、繰り返し知識・技能を定着させることができる。	課題を解決するために獲得した知識・技能を、社会に還元し、自らの生活に関わる課題の解決に活用できる。	課題を解決するために獲得した知識・技能を、社会全体が当てるために活用できるように活用させる。				
	主体性	自分と他者の意見をしっかりと聞き取り、お互いの意見を尊重し、共有することができる。	お互いの意見に関心をもち、相手の意見を尊重して意見を述べていくことができる。	目的や進め方を確認しながら、役割を分担して話し合い、お互いの意見の共通点や相違点を話し合い、意見をまとめることができる。	お互いの立場や意見を明確にして計画的に話し合い、共通の目的や進め方を話し合い、意見をまとめることができる。	自分の意見と相手の意見について、意見の根拠と持っている資料や根拠を日に向けて共有し、比較し、共有の意見を見出し、共有の意見を共有し、新たな意見を創出し、共有している。				
	学習態度	探究的な学習を通して、自分の意見と他者の意見をしっかりと聞き取り、お互いの意見を尊重し、共有することができる。	探究的な学習を通して、自分の意見と他者の意見をしっかりと聞き取り、お互いの意見を尊重し、共有することができる。	探究的な学習を通して、自分の意見と他者の意見をしっかりと聞き取り、お互いの意見を尊重し、共有することができる。	探究的な学習を通して、自分の意見と他者の意見をしっかりと聞き取り、お互いの意見を尊重し、共有することができる。	探究的な学習を通して、自分の意見と他者の意見をしっかりと聞き取り、お互いの意見を尊重し、共有することができる。				

今年度、各学年が開発・実践する予定の単元

単元を通して育成したい資質・能力の具体

布野中学校区  
オリジナルカリキュラム

## 【 ルーブリック 】

	A	B	C
生きて働く知識と技能	課題の解決に必要な知識及び技能を獲得し、実社会や実生活に活用できる概念を形成している。	課題の解決に必要な知識及び技能を獲得し、課題に関わる概念を形成している。	課題解決に必要な知識及び技能を獲得している。
調整力	話し合いを通して、考えを発展・進化させ、合意点を見出すことができる。	話し合いを通して、自分の考えを見直したり、新たな視点をもったりすることができる。	他者の考えを聞いて、自分の考えに活かすことができる。
主体性	自分に取り組むべきことを明らかにし、必要に応じて活動計画を見直して、修正を加えながら取り組みを進めようとしている。	自分に取り組むべきことを明らかにし、見通しを持って取り組みを進めようとしている。	自分に与えられた指示を果たそうとしている。
自らへの自信	<p>自らへの自信は、「学びに向かう力、人間性等」の「観点別学習状況の評価や評定にはなじまず、個人内評価を通じて見取る部分」に対応した資質・能力であるため、ルーブリック評価による一律な評価は行わず、子どもたち一人一人のよい点や可能性、進歩の状況を見取って、それを価値付けていく。</p>		

布野中学校区  
ルーブリック  
の基本形

【ルーブリック】			
	A	B	C
生きて働く知識と技能	課題の解決に必要な知識及び技能を獲得し、実社会や実生活に活用できる概念を形成している。	課題の解決に必要な知識及び技能を獲得し、課題に関わる概念を形成している。	課題解決に必要な知識及び技能を獲得している。
調整力	話し合いを通して、考えを発展・進化させ、合意点を見出すことができる。	話し合いを通して、自分の考えを見直したり、新たな視点をもったりすることができる。	他者の考えを聞いて、自分の考えに活かすことができる。
主体性	自分が取り組むべきことを明らかにし、必要に応じて活動計画を見直して、修正を加えながら取り組みを進めようとしている。	自分が取り組むべきことを明らかにし、見直しを持って取り組みを進めようとしている。	自分に与えられた指示を果たそうとしている。
自らへの自信	自らへの自信は、「学びに向かう力、人間性等」の「観点別学習状況の評価や評定にはなじまず、個人内評価を通じて見取る部分」に対応した資質・能力であるため、ルーブリック評価による一律な評価は行わず、子どもたち一人一人のよい点や可能性、進歩の状況を見取って、それを価値付けていく。		

教師の指導改善に活用

児童生徒が学びを振り返り学習改善に活用

教師は、行動観察や振り返りをルーブリックで評価して、指導改善に生かす。

小3・4



これおもしろいな～これもおもしろいな～(目的から離れていく)

①ルーブリックを活用した評価

- ・見直しをもって進められていないな。
- ・目的も意識できていないぞ。

②評価結果の活用

【教師のファシリテート】

- ・何のためにやってるんだっけ？
- ・中間発表まであと何日かな？



あと3週間で発表するんだっ！手分けして調べて、プレゼンを作っていこう！

児童・生徒は、本時の目標に対してルーブリックを活用した自己評価(振り返り)を行い、主体的な学び手となる。

中2



【生徒の振り返り】  
今日の自分はB評価だった。様々な状況に対して適切に対応するために、周りをよく観察してやり方を決定していくようにしたい。

## 対話の充実

児童・生徒同士が、お互いに聞きたいことを率直に聞き合うことで相互理解が深まっていく！

### 発表者

新たな視点に気づき、  
新たな課題を見出せる。

### 聴き手

発表内容や発表した友達の  
考えへの理解が深められ、自  
分の考えと比較ができる。

### 全体

質問が集中したり、繋がっ  
たりした内容部分から中心課  
題を見出せる。

対話を充実させるための指導・支援

- ・対話の場面や方法をふまえた単元計画の立案
- ・「考えるための技法」や「対話のための技法」の活用
- ・正解より考えを出し合い最適解に導くことが大切という価値観の共有
- ・能動的に聴き合わせる

## 能動的に聴き合うためのポイント！



探究に関わる全員で「探究の目的」を  
確認し「単元を貫く課題」を設定させる。

(中1) 布野を活性化するために、  
地域資源をどのように活用していけ  
ばよいか意見を出し合い考える。



探究課題に対する意欲を高めさせ、  
主体的に活動に取り組みさせる。

(小5) 育てた米をまずは自分  
たちが食べ、その魅力を全校に  
も伝えるための案を考え合う。



対話の前に自分の考えがもてるよう、  
課題と向き合い考える時間を確保する。

(小1) 対話の前に、自分が秋見  
つけで撮影した写真に気づきを書  
き込み、それを基に話し合う。



自己との対話

他者との対話・対象世界との対話

観光地にするのに必要なものは何だろう？



方向があっているのか心配だ。

矢印をかいた看板があれば、来た人が安心して進めるぞ。



僕は、あとどの位歩くか気になったよ。

矢印と一緒にあと何メートルかも書こう。必要な看板の数は・・・。



何個位、看板をつくるの？

○人・もの・ことと出会うことが主体的な学びにつながり、対話の原動力となる。  
○対話により見方・考え方が深まり、自己の考えを修正・発展できる。

児童生徒同士が、お互いに聞きたいことを率直に聞き合うことで相互理解が深まっていく！

発表者：新たな視点に気付き，新たな課題を見出せる。

聴き手：発表内容や発表した友達の考えへの理解が深められ，自分の考えと比較ができる。

全体：質問が集中したり，繋がったりした内容部分から中心課題を見出せる。

### 対話を充実させるための指導・支援

- ・対話の場面や方法をふまえた単元計画の立案
- ・「考えるための技法」や「対話のための技法」の活用
- ・正解より考えを出し合い最適解に導くことが大切という価値観の共有
- ・能動的に聴き合わせる





## 対話を充実させるための指導・支援の具体例

### ◎「考えるための技法」を活用させる

比較（ベン図）、分類（Yチャート）などの技法を活用し、一人一人の思考を深めることで、自分の意思をもって主体的に対話が進む。

### ◎意見を言いやすい雰囲気をつくる

「正解より考えを出し合うことが大切」という思いを児童生徒と共有し、指導者が日頃から肯定的に声掛けを行うことで安心して意見を言える雰囲気をつくる。

### ◎「トーキングタイム」を設定する

各学年の対話の取組重点項目を決め、朝会時間にお題に沿って話し合いを行う。

### ◎子どもたちと対話の技法を考える

そう考えた理由を尋ねることや共感することなどを意識して話合わせることで、対話を通して学びが深まる。

### ◎聴き手の「おたずね」を大切にする

友達の意見に対する「おたずね（問うこと）」を通して話し手が育つ。

例）・○○って言ったけど、どういうこと？  
・それはつまり○○ってことだよね？

### ◎話しやすいテーマで対話の練習

対話の内容例)

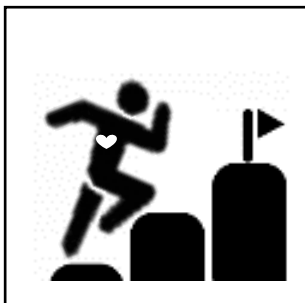
- ・ハロウィンで弾けるのは良い？悪い？
- ・サンタさんとお化け、強いのはどっち？

# 能動的に聴き合うためのポイント！



探究に関わる全員で「探究の目的」を確認し「単元を貫く課題」を設定させる。

(中1) 布野を活性化するために、地域資源をどのように活用していけばよいか意見を出し合い考える。



探究課題に対する意欲を高めさせ、主体的に活動に取り組ませる。

(小5) 育てた米をまずは自分たちが食べ、その魅力を全校にも伝えるための案を考え合う。



対話の前に自分の考えがもてるよう、課題と向き合い考える時間を確保する。

(小1) 対話の前に、自分が秋見つけで撮影した写真に気付きを書き込み、それを基に話し合う。



## “本物”の探究

児童生徒が主体的に真剣に課題解決をしている。

- 課題解決が発展的に繰り返される
- 物事の本質を探ってみ極める
- 各教科等で育成された資質・能力が繰り返し活用・発揮される
- 自己の生き方を考える



### 年長さんと秋見つけ（小1）

年長さんと一緒に会い見つけ。「年長さんに楽しんでもらえるおもちゃを作りたい！」という思いをもつ。



### 布野図書館見学（小2）

学校図書室と比較するために、布野図書館を見学。働く人の工夫を知り、人が来なくなる図書室の改善につなげる。



### 生産者の思いを知る（小6）

商品のメニュー開発を行う上で、生産者の思いを知る。この思いが大切だと知り、開発に向けて探究が始まる。



### 八千代滝視察（中1）

地域の価値ある資源を再発見。滝の迫力や水の涼しさ等、この感動を多くの人に味わって欲しいとプロジェクトへの意欲を高める。



### 大学生との交流（中2）

地域活性への思いをもつ大学生と交流。その熱意に触れ、地域活性について考え、自分たちにできることを考え始める。



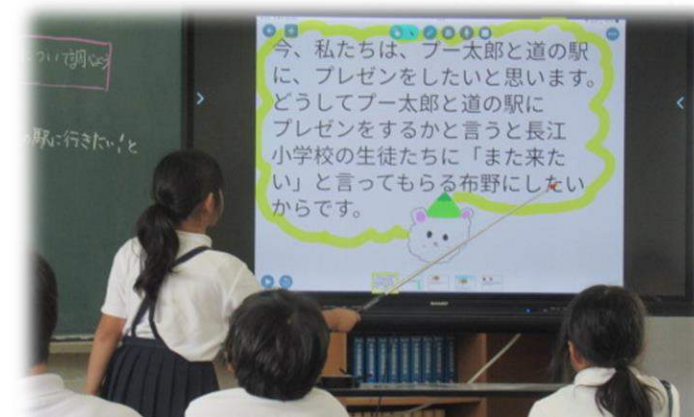
### インタビュー活動（中3）

地域の方に、地域への思いや困っていることをインタビュー。地域の課題を見付け、解決に向けて探究が始まる。

# 目次

1. 布野中学校区の研究構想
2. 探究を充実させる4つの柱
3. 本年度の実践事例
4. 成果と課題及びその対策

## 布野小学校3・4年生 実践紹介



**単元名：来てみて布野！**

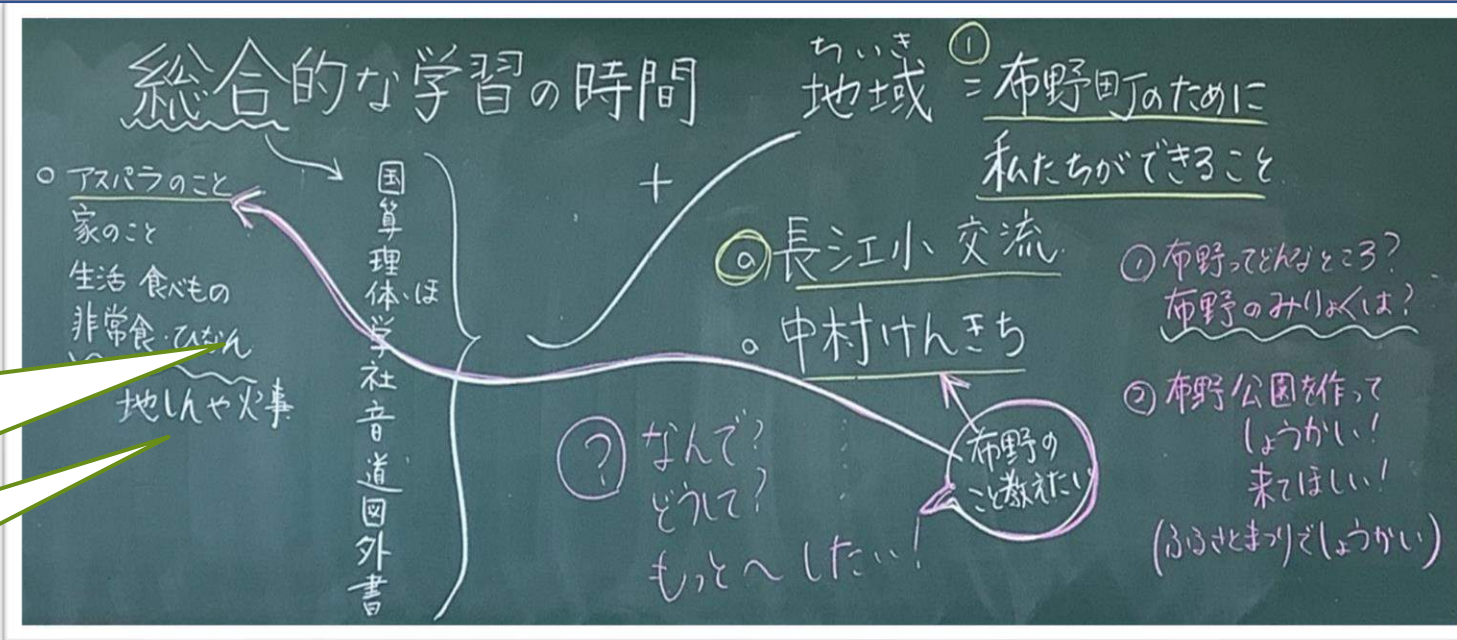
**～伝えたい！布野の自まんを長江小に～**



phase① 課題との出会い

(3年生) 総合って何するの？

(4年生) いろんな教科で学んだことを生かして布野のためになることをするんだよ！



布野に行きたいと思ってもらいたいよね！



だったら！

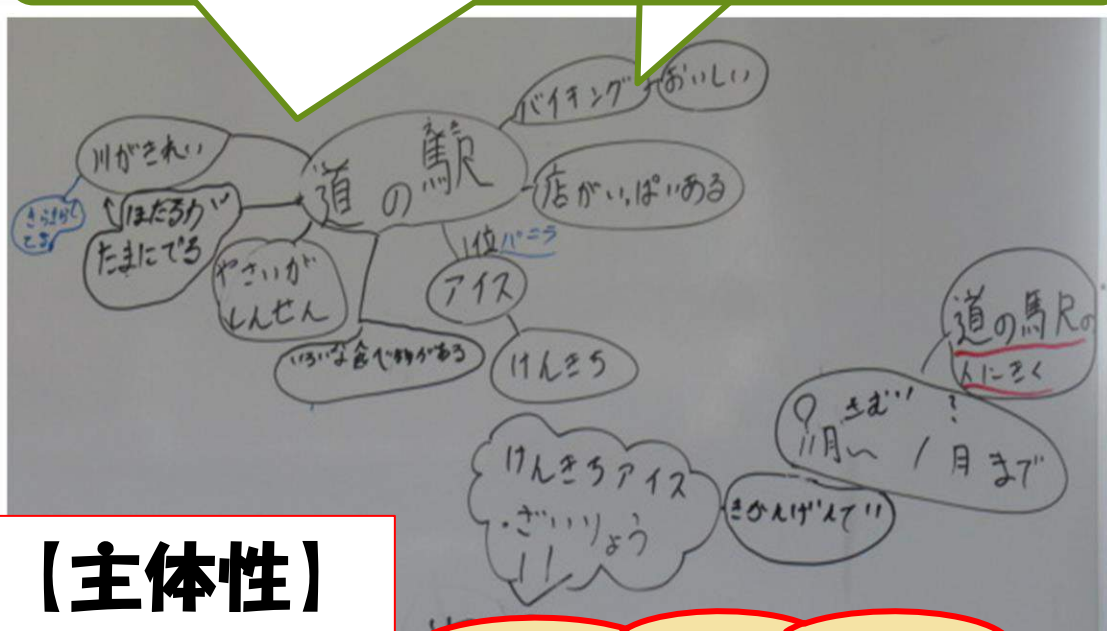
長江小の人にぜひ「行きたい」「楽しい」「また来たい」と思ってもらえる布野にしよう！

『3年生のアスパラガスを育てること』、  
『4年生の長江小との交流会をすること』  
の伝統は引き継ぎたい！

## phase② 計画を立てる

やりたいことを整理してみよう！

11月までにどんな順番で進める？



【主体性】

目的意識○  
見通しをもって計画的に○

これおもしろいな～！  
これもおもしろいな～！



見通しをもって  
進められていないな。  
目的も意識できていないぞ。

【教師のファシリテート】

- ・何のためにやってるんだっけ？
- ・中間発表まであと何日かな？

あと3週間で  
発表するんだった！  
手分けして調べて、  
プレゼンを作っていこう！







phase③ ゴールに向けて友達と話し合いを行いながら活動に取り組む

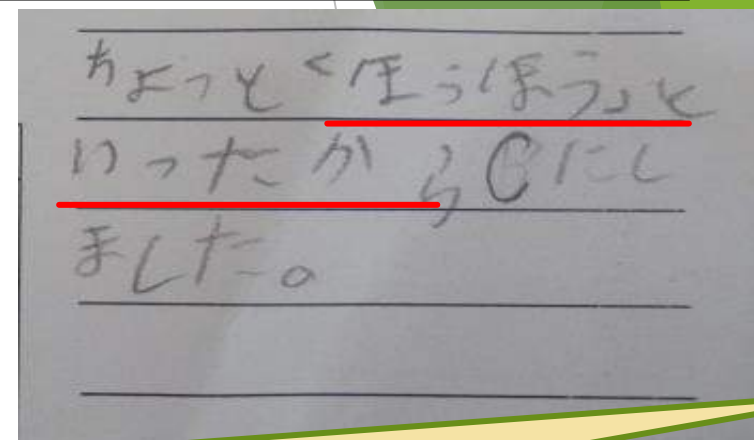
他にも布野に来てほしい所がある！



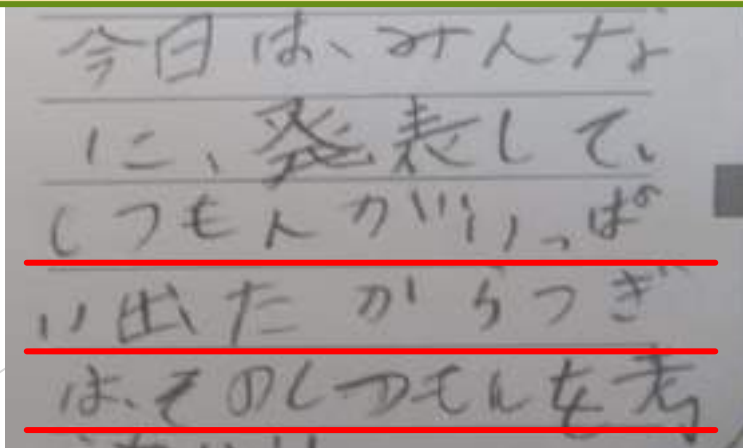
現地調査！



伝え方の検討



自分の意見を整理できずに活動に入ってしまったか？  
【教師のクラス全体へのファシリテート】  
話し合い中「おたずね」を意識して話してみよう！



phase③ ゴールに向けて友達と話し合いを行いながら活動に取り組む

試作



動画撮影&編集



提案



協力しよう！  
布野の旅行団として  
本気でPR動画を作っ  
てYouTubeに  
あげてみては？

マスコットキャラ  
考案！

思いもよらぬ提案に  
子供たち大興奮！

アスくん



ふのゴン



# 布野小フェスタで発表



# 布野のキャッチコピー考案!



# 長江小と zoom 交流会



布野に来たこと  
ありますか？



布野のよさが一目  
で伝わるかな？

尾道ラーメンがあるんだ！  
ラーメン私も好き！

大自然 山も川も  
かがやいて  
みじくあふれる 布野に行こう

来てみて布野!  
大自然の  
ダイヤモンドをさがせ!

アスくん ぶのゴン

布野小3・4年生で、布野をイメージした  
マスコットキャラクターを考えました!

布野観光旅行会社

**パンフレット完成!**

phase ④ ゴール・振り返り

# 長江小交流会



緊張するね…

自己紹介

尾道市内の紹介  
(長江小より)



尾道市内は布野とは全然ちがうね！

布野の紹介



リンゴ狩りができるし、道の駅でBBQもできるよ！ぜひ来てね！

へえ！行ってみたい！

フシゼント交換



最高の1日になったね！

また会いたいね！

phase ④ ゴール・振り返り

## 振り返り～児童の作文より～

(中略)

ぼくも布野のことを長江小の人に教えました。道の駅のことを紹介すると、長江小の人たちも、

「布野に行きたい。」

と言ってくれました。ぼくも、

「また長江に行きたい。」

と言いました。長江小の人たちも

「来てね。」

と言ってくれました。ぼくたちが総合の時間にがんばって調べたり、まとめたりしたことが紹介できてよかったと思いました。

**主体性**

(中略)

来年はぼくたちが布野のことをもっと教えてあげたいです。

(中略)

その中で一番楽しかった事は、道の駅の動画さつえいだ。なぜ動画さつえいをしたのかというと、総合の授業で、「長江小の人に布野に行きたい！楽しい！また来たい！と思ってもらえるようにするには？」というゴールに向かって学習してきたからだ。

(中略)

野菜市場では野菜や果物を紹介したり、クイズをしたりして動画をとることを考えた。また、バーベキューをしている動画もとった。

**主体性**

(中略)

そうすることで、長江小の人が「行きたい！楽しい！また来たい！」と思ってもらえると思った。

「どう撮ったら分かりやすくなるだろう。楽しくなるだろう。」と考えながら、みんなできょう力した。その時間は、すごく楽しかった。どの授業よりもみんなが楽しく、協力していたと思う。

**自らへの自信**

# 布野中学校3年生 実践紹介

## 地域について学んだことを発信しよう ～地域をより良くするために自分たちが できることを考えて実行しよう～

### 小学校3年時 アスパラガスとの出会い

地域の人に教わりながらアスパラガスを栽培し、布野の特産品であることを学習する。



布野のアスパラガスは有名なんだよ。

(単元終了後の振り返り)  
・こんなに大きく育つなんてビックリした。  
・アスパラガスって美味しい。

### 中学校1年時 特産品を使ったスイーツの開発

得られた情報を分析し、スイーツを1つに絞ることに決定。自分たちで評価項目を決めてレシピを採点。



料亭で、意外性は特に重要って教わったね。

アスパラは意外性があるっていいじゃない。

話し合いの末、  
**アスパラ大福に決定!**

パッケージデザインの作成

しおり・チラシ・HP作成

ひろしま夢ぶらざで販売

修正した販売プロモーションを行う。用意した60個が2時間で完売。

コンペ優勝デザイン

提出したデザイン

商品に同封するしおり

単元を貫く問いを生かした振り返り

単元を貫く問いを確認し、自分たちなりに精一杯問いの答え出せたかどうか、プロモーション活動全体を振り返る。

プロモーション活動で布野を知ってもらえたかな？

沢山売れたけど、布野を知ってもらえていない。

**【生徒が見つけた問い】**  
アスパラ生クリーム大福を購入した人に、布野のことを知ってもらうにはどうすればよieldらうか。

**この問いから次(3年生)の探究へ!**



これまでの探究活動全体を振り返り、自分の特性をどのように社会に役立てていくか考えていく!

## phase① 現実の文脈に沿った課題と出会う。

昨年度の振り返りから今年度の探究内容を決める。

探究内容の決定



昨年度、1年生が応募していたコンテストに応募しよう。



沢山の人に、アスパラ生クリーム大福を買って貰えたけれど、布野を知って貰えていなかったな。



これまでの探究活動の振り返り

対話の流れ

- ・そもそも、何で知って貰いたかったんだっけ？
- ・知ってもらって、訪れてもらえば布野が活性化するよ。
- ・地域の方は、布野にどうなって欲しいと思ってるのかな？
- ・地域の方が困っていることを解決できればより良い町になるんじゃないかな？
- ・地域の人から困っていることを聞いて、それを解決しよう。
- ・でも、困っていることを、ずっと手伝うのは無理だよ。
- ・解決して貰うために市役所にお問い合わせすればいいと思う。
- ・解決するのに、きっとお金が必要だよ。お金はどうする？
- ・アスパラ生クリーム大福をふるさと納税の返礼品にして税收を増やせばいいのでは？





phase③ 成果の発表に向けて、自分たちで学習を調整しながら粘り強く取り組んでいく。

取材

地域の人にインタビュー

どこにインタビューに行けば、知りたいことが聞けるかな？



取材場所の決定

[布野の人たちの思い]

- ・バスの便が少ない。今はいいけれど、運転できなくなったときに困る。
- ・人口の減少を食い止める方法を、若者ならではの視点で考えて欲しい。

布野の人たちが集まる場所はどこだろう？

インタビューのとき、どう聞けば良いのかな？



取材内容の決定

学校運営協議会



運動サークル



布野支所



アスパラ農家



# 1 研究構想

# 2 探究の柱

# 3 実践事例

# 4 成果と課題

広島市での活動

準備の方針決定

インタビューやプロモーションの内容を、去年とどう変えればいいのか？



方針に沿って準備

ふるさと納税の返礼品になったら申請してくれるかを聞かなきゃ。

どうしてそう思ったのかも合わせて聞いた方がいいね。



広島市でインタビュー & プロモーション活動

ふるさと納税が分からない人がいた。説明できるように準備が必要だった。



生きて働く知識と技能の高まり

伝える情報を商品名だけに絞ろう。色はアスパラガスの緑色がいいかな。



幟に気付いてどこで売っているか聞いてくれた人がいた。情報を絞るのは大切だな。



# 1 研究構想

# 2 探究の柱

# 3 実践事例

# 4 成果と課題

コンテストに応募 (レポート作り)

3年間でやってきたことの中から、どの内容を説明すればいいかな。



レポートの内容決め

地域の人々の思いをふまえた提案であることをアピールしたいからここは2ページ使おう。

レポート作成



このページ、2つのことを説明しているから分けてもいいかな？

私たちの最高の提案

～地域の交通利便性の向上について～



広島県 三次市立有野中学校「有野中3年生」

コンテストに応募

じゃあ、このページは前のページと合体させよう。

ページ構成の決定

応募後の振り返り

[ 評価結果の活用 ]

振り返りの記述同様、指導者も調整力がB評価であると判断。

これまで、他者の助言の通りに修正する姿が多かったが、助言を基に新たな視点から考えたり自分で判断したりする姿を価値づけ、今後の学習につなげた。

最初は地方創生政策アイデアコンテストのプレゼンテーションを作っているときに自分たちで作ったチラシを大きくして載せたいと思っていたけれど、プレゼンに載せる内容を話し合ったときに、このページで伝えたいことは何かという話になって、チラシを大きくする意味はあまりないのではと思ひ、より意味のある、ちらして得られた調査の結果を載せることにした。そうすることで、よりよいプレゼンの内容に修正することができた。  
話し合いによって自分の意見を見直すことができたのでB評価になった。A評価にしていくために調査結果をどのように載せるのが効果的かとして考えて作っていきたい。

# 1 研究構想

# 2 探究の柱

# 3 実践事例

# 4 成果と課題

## 市役所への提案に向けた活動

文化祭で提案内容を発表  
してアンケートを実施



地域の祭りで再調査



市役所の方に事前提案



提案内容の修正



文化祭に来た人  
だけの意見で、布  
野で暮らす人たち  
の意見って言える  
のかな？



アンケートの分析



提案内容の修正

バスの増便よりも、巡回  
マイクロバスの提案の方が  
役立ちそうだね。

獣害で困っている人が  
多かったことも伝えよう。

Phase④ 成果の発表と探究活動全体を俯瞰した振り返りを行う。

活動の振り返り

市役所への提案

三次市長・ふるさと納税  
担当者の方へ提案



活動の振り返り



【次の探究に繋がる問い】

自己の在り方・生き方を考えながら自分の特性をどのように活かして  
社会と関わっていくか。

最後に総会でレベルアップカードを活用して、中学校の  
社会の先生に話を聞いて、高校に入学して出会うまでと  
しかりコミュニケーションをとっていきたいです。大人になっ  
たら生徒たちに社会科の先生と、いろいろな人と関わ  
っていくことの良さも考えていきたいです。

このような活動から、自分は調整力を身に付けることが  
できました。自分と他者の意見の相異点を見つけて、新たな  
考えをだすことができました。将来、大人になった時、互いの  
意見や考えを調整して、物事を考えていきたいです。また、自分の住  
んでいる地域に貢献できるように、地域の行事である  
祭りと祭りなどでスタッフとして働きたいです。

【個人内評価】

探究活動を通して高めた自  
己の資質・能力を、今後、ど  
のように活用していきたいか  
を考えようとする姿は、自ら  
への自信に関する内容である  
ため、ルーブリックによる評  
価は行わず、個人内評価を  
行った。

就きたい職業と関連付けて  
活用しようとしていることを  
評価して価値づけた。

社会貢献と関連付けて活用  
しようとしていることを評価  
して価値づけた。

# 目次

1. 布野中学校区の研究構想
2. 探究を充実させる4つの柱
3. 本年度の実践事例
4. 成果と課題及びその対策

指標	達成目標	検証時期	検証方法
①児童生徒の探究活動への意欲	探究活動への意欲に関する質問項目について、肯定的な回答をする児童生徒の割合が全国の平均以上	8月	全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙
	単元開始時よりも探究活動への意欲が向上したと回答する児童生徒の割合が80%以上	単元開始時と終了時	布野中学校区独自アンケート
②児童生徒の資質・能力の高まり	資質・能力に関する質問項目について、肯定的な回答をする児童生徒の割合が広島県の平均以上	6月	児童生徒学習意識等調査
	単元開始時よりも資質・能力が高まったと回答する児童生徒の割合が80%以上	単元開始時と終了時	布野中学校区独自アンケート
③小中9年間を見通した単元の実践	児童生徒の資質・能力を高めるのに適した単元となっていると回答した参観者の割合が80%以上	公開研究会	布野中学校区独自アンケート
④ループリックを用いた評価結果の活用	ループリックを活用した評価結果をもとにして指導改善を行ったと回答する教員の割合が80%以上	単元終了時	布野中学校区独自アンケート
⑤児童生徒の対話の充実	児童生徒が対話により自分の考えを見直したり、新たな視点をもったりしていると回答した参観者の割合が80%以上	公開研究会	布野中学校区独自アンケート

指標① : 児童生徒の探究活動への意欲

達成目標 : 探究活動への意欲に関する質問項目について、肯定的な回答をする児童生徒の割合が全国の平均以上

### 主体性

#### 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙 質問番号

#### 肯定的回答

令和3年度

令和4年度

令和5年度

布野小学校  
(全国平均)

(39) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。

**80.0%**  
(73.1%)

**72.8%**  
(72.8%)

**100%**  
(77.7%)

布野中学校  
(全国平均)

(43) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

**76.9%**  
(70.2%)

**80.0%**  
(72.1%)

**100%**  
(77.9%)



指標② : 児童生徒の資質・能力の高まり

達成目標 : 資質・能力に関する質問項目について、肯定的な回答をする児童生徒の割合が広島県の平均以上

### 主体性

#### 児童生徒学習意識等調査

#### 肯定的回答

		肯定的回答		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
布野小学校 (県平均)	(27) 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	<b>81.8%</b> (69.5%)	<b>83.4%</b> (72.9%)	<b>91.7%</b> (72.6%)
布野中学校 (県平均)	(27) 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	<b>100%</b> (68.2%)	<b>85.7%</b> (72.0%)	<b>80.0%</b> (73.0%)

指標② : 児童生徒の資質・能力の高まり

達成目標 : 資質・能力に関する質問項目について, 肯定的な回答をする児童生徒の割合が広島県の平均以上

### 調整力

### 児童生徒学習意識等調査

### 肯定的回答

		肯定的回答		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
布野小学校 (県平均)	(25)授業では, 友だちと話し合うなどして, 自分の考えを深めたり, 広げたりしています。	<b>72.7%</b> (79.5%)	<b>83.4%</b> (83.4%)	<b>91.7%</b> (83.9%)
布野中学校 (県平均)	(25)授業では, 友だちと話し合うなどして, 自分の考えを深めたり, 広げたりしています。	<b>100%</b> (82.1%)	<b>100%</b> (86.2%)	<b>80.0%</b> (85.6%)

## 指標② 質問紙調査結果の変容

中学3年生	全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙	肯定的回答		
		4月	10月	12月
地域や社会への貢献意欲	(30) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	33.3% (全国：63.9%)	100%	100%
中学2年生	児童生徒学習意識等調査	肯定的回答		
		6月	10月	12月
探究の過程 (情報の収集)	(15) 授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。	80.0% (県：49.9%)	80.0%	100%

## 指標②

資質・能力についての自校アンケート  
【布野中学校】

## 肯定的回答

		4月	10月	12月
調整力	活動内容を考えるときに、自分のやりたいことや考えていることが違っているとき、お互いの意見を調整して活動内容を決定しています。	76.9%	92.3%	92.3%
主体性	最終的な目的を達成するためにどのように活動を進めていけば良いのか、自分で考えて活動を進めようとしています。	76.9%	100%	100%
自らへの自信	活動を通して自分の特性(得意なことや興味のあること等)を発見したいと考えています。	76.9%	84.6%	92.3%

指標③ : 小中9年間を見通した単元の実践

達成目標 : 児童生徒の資質・能力を高めるのに適した単元となっていると回答した参観者の割合が80%以上

公開研究会アンケート	回答者	肯定的回答	
		とても当てはまる	当てはまる
「本単元」は、児童生徒の資質・能力を高めるのに適した単元となっていた。	小学校関係者	72.7%	27.3%
	中学校関係者	66.7%	33.3%
	学校関係者	66.7%	33.3%
	平均	100%	

指標④ : ルーブリックを用いた評価結果の活用

達成目標 : ルーブリックを活用した評価結果をもとにして指導改善を行ったと回答する教員の割合が80%以上

教職員アンケート	回答者	肯定的回答
ルーブリックを活用した評価結果をもとにして指導改善を行っている。	小学校	100%
	中学校	66.6%
	平均	83.3%

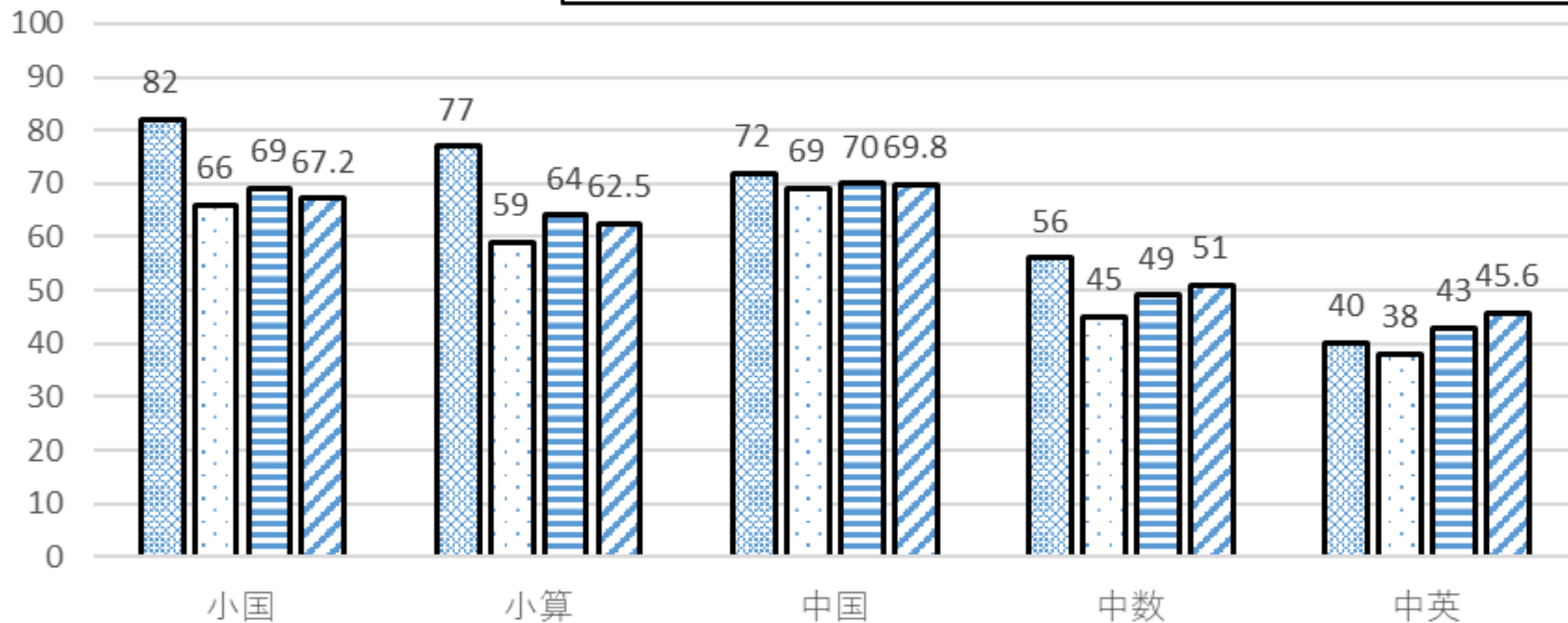
指標⑤ : 児童生徒の対話の充実

達成目標 : 児童生徒が対話により自分の考えを見直したり, 新たな視点をもったりしていると回答した参観者の割合が80%以上

公開研究会アンケート	回答者	肯定的回答	
		とても当てはまる	当てはまる
児童生徒は, 対話により自分の考えを見直したり, 新たな視点をもったりすることができていた。	小学校関係者	45.45%	45.45%
	中学校関係者	50.00%	41.67%
	学校関係者	0.0%	100%
	平均	94.19%	

## 全国学力・学習状況調査

■ 布野 ■ 三次市 ■ 広島 ■ 全国





## ・ 成果

- ① 布野中学校区探究活動モデルを活用し、各学年でPBLの考え方を取り入れた探究的な単元を構想することができた。また、各教科でも探究的な学びの良さを生かすことができ、学力向上につながっている。

## ・ 成果

- ②布野中学校区オリジナルカリキュラムを基に、9年間で系統的なルーブリックを作成し活用している。教師は形成的評価に活用し、児童生徒は振り返りの視点として自らの成長を自覚し、次への学びの意欲につなげている。

## ・成果

- ③能動的に聴き合うポイントを意識し，対話する場面を意図的に設定することで，児童生徒が対話を通して，考えを深めたり，新たな視点に気付いたりするなど学びを深めることができた。

## ・ 課題とその対策

①各学年の探究活動をさらに充実させていくため、児童・生徒が前年度に得た経験をふまえながら探究の過程をより発展的に遂行していけるようにする。

→ 布野中学校区オリジナルカリキュラムにある各発達段階での資質・能力が育成された姿をふまえて、各学年の単元を構想していく。また、実施した単元をポートフォリオとして系統的に整理していく。

## ・ 課題とその対策

②PBLの考え方を取り入れた探究的な活動を，さらに各教科で実践していくことで，各教科の学びと総合的な学習の時間の学びを往還させ，児童生徒の学びを深めていく。

→教科の目標をふまえて，PBLの考え方を取り入れた探究的な活動を各教科でも並行して実践し，児童生徒の各教科の学びと総合的な学習の時間の学びを深めていく。また，学習内容と，総合的な学習の時間の内容とのより一層の関連付けを図る。

児童生徒が本気で探究し、  
主体的に学びを深める授業を創いませんか？



探究の風



探究的な授業を創り、児童生徒の資質・能力を育成していきましょう！